

中学校
管理職・教職員
向け

適切で効率的な部活動を

部活動を取り巻く状況が変化している時だからこそ…

部活動の位置づけと自身の指導について改めて確認しましょう。

《部活動の位置づけ》

生徒の自主的、自発的な参加により行われるものであり、スポーツや文化、科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感の涵養等、学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものであり、学校教育の一環として、教育課程と関連して行われるものである。 「運動部活動の在り方に関する方針」より

休養日や活動時間は…

全てにチェックが入りますか？

- 学期中は、週当たり2日以上（平日は少なくとも1日、週末は少なくとも1日以上）の休養日を設けている。
- 週末に休養日を設けないことができる例外的状況とはどのような場合かを理解している。
- 1日の活動時間は、長くとも平日は2時間程度、学校の休業日（週末を含む）を3時間程度とし、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行っている。

体罰〇（ゼロ）に向けて…

- 結果や自分のメンツよりも、児童生徒の心身の成長を最優先に考え、過度の負荷をかけた練習等を強いることはない。
- 自分の指導がうまく行かない時、児童生徒に責任を押しつけることなく、自らの指導の在り方を改善している。
- 指導したことが伝わらない場合にも、感情的にならず、冷静に心にゆとりをもった対応や指導を行っている。
- 他の教員等と連携し、児童生徒を多面的に捉え、チームによる指導を心がけている。
- 体罰を見聞きした場合は、速やかに管理職に報告・連絡・相談するという認識をもっている。
「文化部活動の在り方に関する方針」「運動部活動の在り方に関する方針」「体罰防止ハンドブック」参考

適切な休養日を設定し、内容や指導の在り方について検討・見直しを行いながら、適切で効果的な充実した部活動にしていきましょう。

部活動での指導でも体罰、暴言や侮辱的な言動は、絶対に許されることではありません。